

食品安全委員会を知っていますか？

何故できたの？



除草剤の影響を受けないダイズ



例えば、

- 食生活の多様化
- 新しい技術の利用 (組換えDNA技術など)

BSEなどの問題から、新しい食品安全のための考え方が必要になったからです



食品安全委員会を知っていますか？

何故できたの？



大腸菌 O157



例えば、

- 食生活の多様化
- 新しい技術の利用 (組換えDNA技術など)
- 新しい感染症が現れる (O157, BSE等)

BSEなどの問題から、新しい食品安全のための考え方が必要になったからです



食品安全委員会を知っていますか？

たまにしか開かない
いわゆる審議会で
しょ？



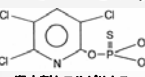
毎週木曜日に公開で行って
います

【だれでも傍聴できます】

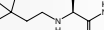


食品安全委員会を知っていますか？

具体的に何し
てるの？



殺虫剤クロルピリホス



甘味料ネオテーム



その他に健康食品、動物用医薬品
自然毒、化学物質など

食中毒

農薬、添加物、食中毒、BSE、
遺伝子組換えなど食品の安全
性に関するありとあらゆる評
価をしています



食品安全委員会の構成

食品安全委員会は7人の委員から構成されています。

16 専門調査会

企画

緊急時対応

リスクコミュニケーション

食品安全
委員会委員



化学物質系グループ：農薬、添加物など

生物系グループ：微生物、プリオンなど

新食品グループ：遺伝子組換えなど

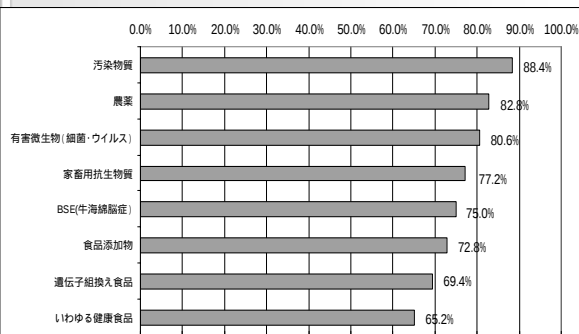
専門委員：198名

事務局(職員57名、技術参与33名)

平成19年7月末現在

食品の安全性からみた不安要因

食品安全委員会 食品安全モニター調査 n=448名 (平18.6実施)
[非常に不安] + [ある程度不安]と感じている人(%)



食品安全委員会
は何をしてるの？

食品安全の
ための新しい
考え方って？



● 本報記者採訪、整理，未經核實者恕不負責。如有錯誤，請與本報聯繫。

ソラニン



調理の時に除去



加工の時に除去

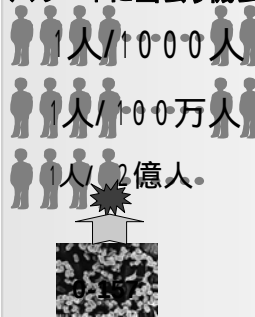
商品化されている大果系トマト



育種で低減化されている

危害要因(ハザード)
 Ⅱ
 健康に悪影響をもたらすもの

ハザードに出会う機会 影響の程度



×  = リスク

「いやな事が起こる可能性と、起きた時の被害の深刻さ」の程度

どんな食品にもリスクがあるという前提で、科学的に評価し、**妥当な管理**——健康への悪影響を未然に防ぐ、または、許容できる程度に抑える

リスク評価

リスク
ニケーション

リスク管理

- ・ 国民の健康に悪影響を与える事件、事故などが起きていないか？
- ・ 緊急性、重要度、目標は？

(厚生労働省、農林水産省等)

リスク分析の初期作業

リスク評価に基づく管理手段の検討

リスク評価
(食品安全委員会)

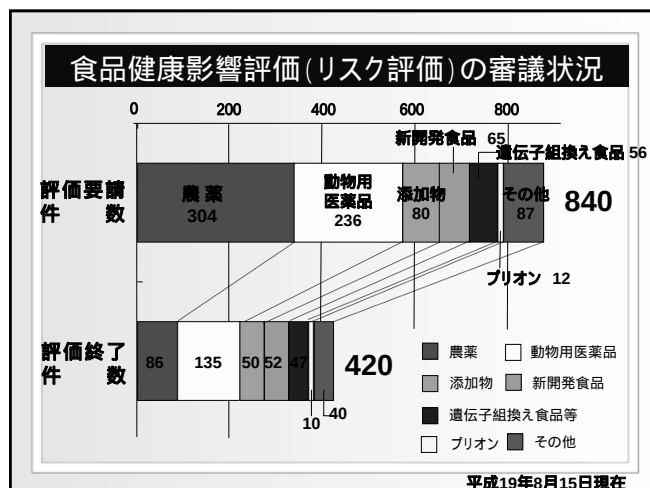
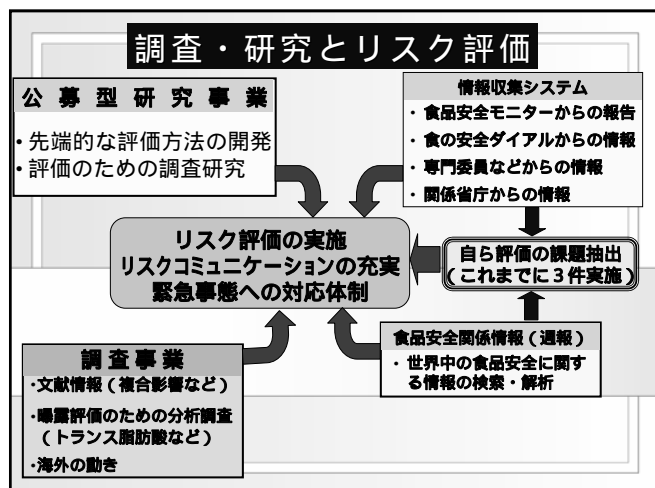
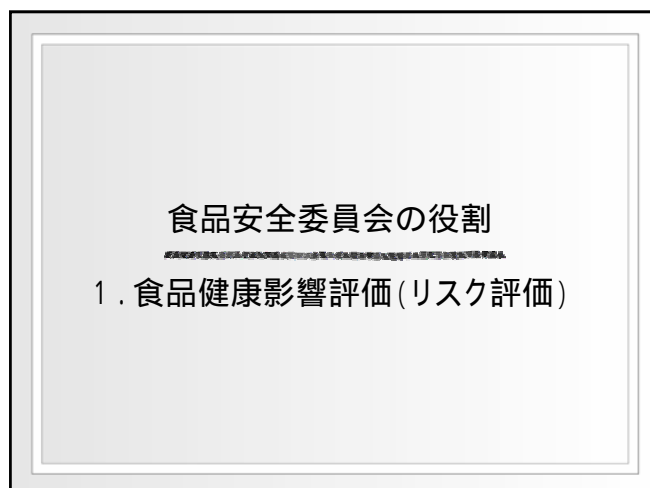
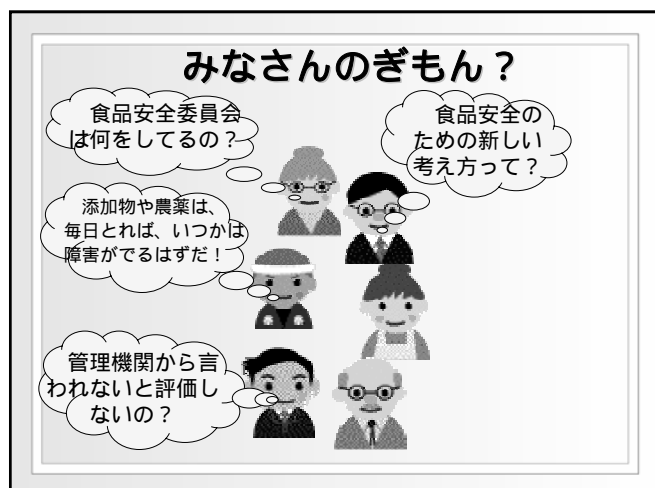
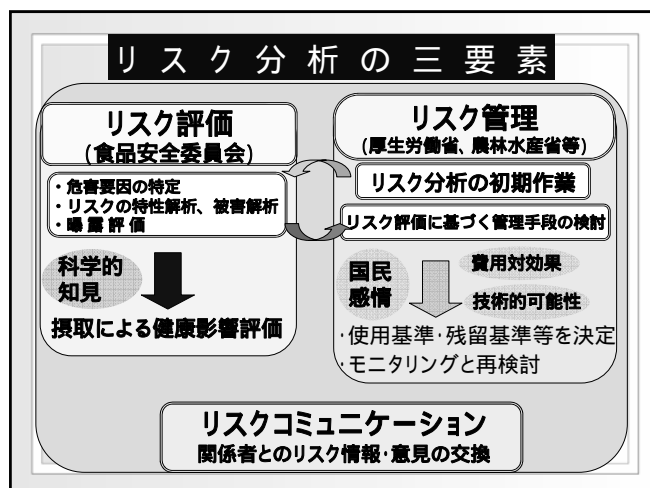
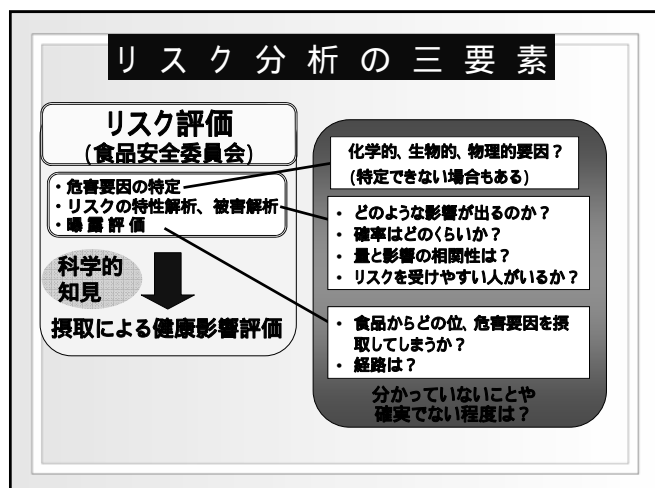
- ・ 管理手段の選択肢を作る
- ・ 選択肢から選ぶ

国民

費用対効果

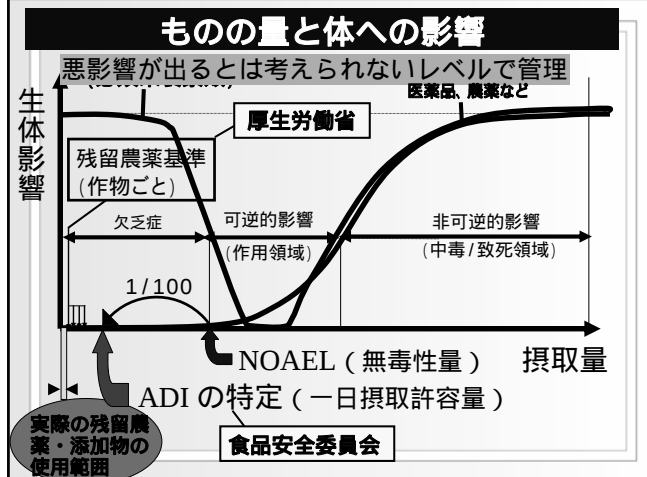
感情 ↓ 技術的可
・基準を決める
・モニタリングと再検討

- ・ 農薬や添加物の使用基準
- ・ 農薬、動物薬の残留基準



リスク評価はどのように行われるのか (化学物質の場合)

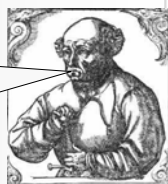
- 危害要因は何か
- 動物実験から有害作用を知る
- 動物実験等から最大無毒性量を推定する
- 安全係数（不確実係数）を決める
- ADI（一日摂取許容量＝ヒトが一生涯、毎日摂取しても有害作用を示さない量）を設定する
- どの位摂取しているのか（曝露評価）



天然由来の添加物は安全???

「天然だから」、「食経験があるから」、安全とされているようだが、天然由来の方が安全性が高いというわけではない

全ての物質は毒であり、薬である。量が毒が薬かを区別する



例えば、医薬品は適量を守れば“良薬”
適量を過ぎれば“毒薬”
大事なことは毒性の限界値の見極め！

パラケルスス
(スイスの医学者、錬金術師、1493 - 1541)

食品の安全性に関する副読本の例

(共通してみられる説明)

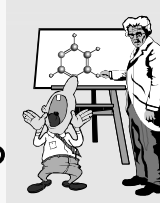
加工食品の選び方

賞味(消費)期限を確かめる

食品添加物の少ないもの

品質表示や認証マークのあるもの

容器・包装の破れていないもの



(中には、、、)

- 万病のもとといわれる活性酸素の体内発生と添加物との関係が注目されている
- キレる子どもの増大とリン酸塩やタール系色素などの添加物の関係が注目されている

無毒性量を定めるための動物実験等

- ◆ 急性毒性試験
- ◆ 反復投与毒性試験（亜急性、慢性）
- ◆ 遺伝毒性試験（変異原性試験）
- ◆ 発がん性試験
- ◆ 繁殖毒性試験
- ◆ 催奇形性試験
- ◆ 体内運命試験



最小無毒性量 一日摂取許容量

農薬の使用基準と残留基準

国民栄養調査等をもとに各農産物から摂取する残留農薬の合計した量がADIを超えないか確認する

一日当たりの各作物の摂取量
(国民栄養調査等)

国際基準

農薬摂取量

その他の摂取量

コメからの摂取量

コムギからの摂取量

ミカンからの摂取量

残留農薬基準

作物中の残留農薬実態調査

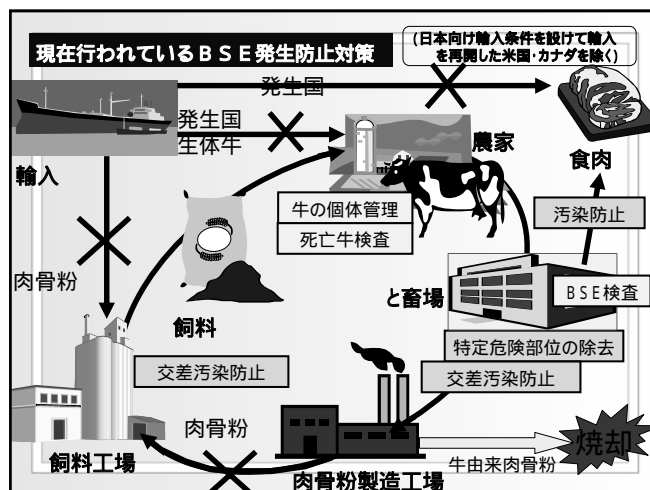
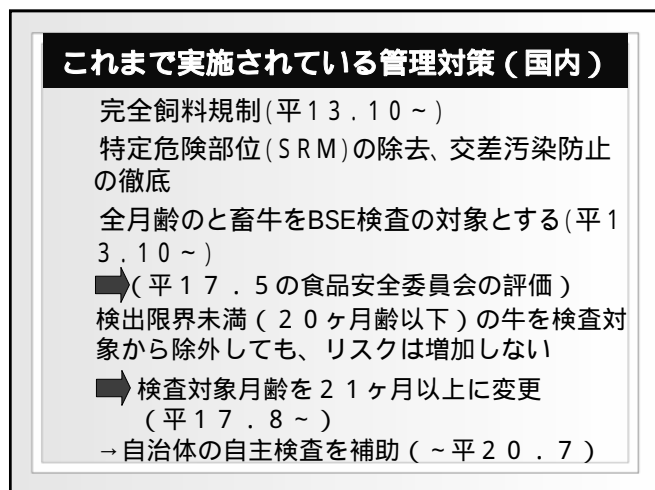
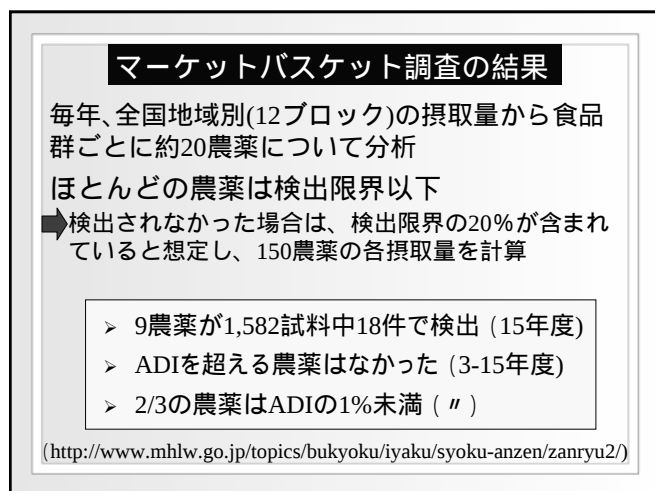
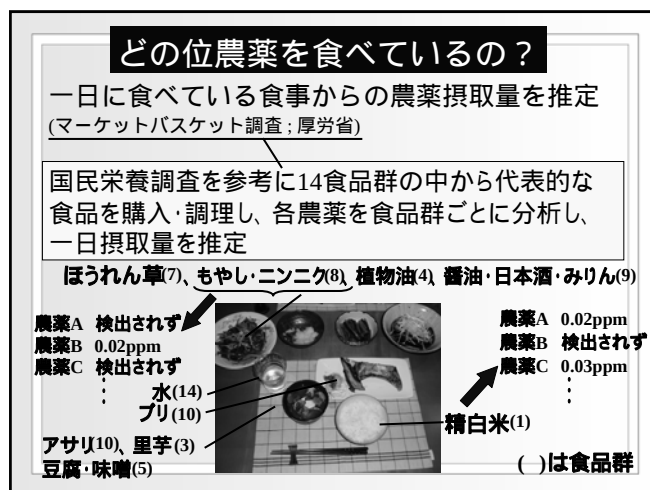
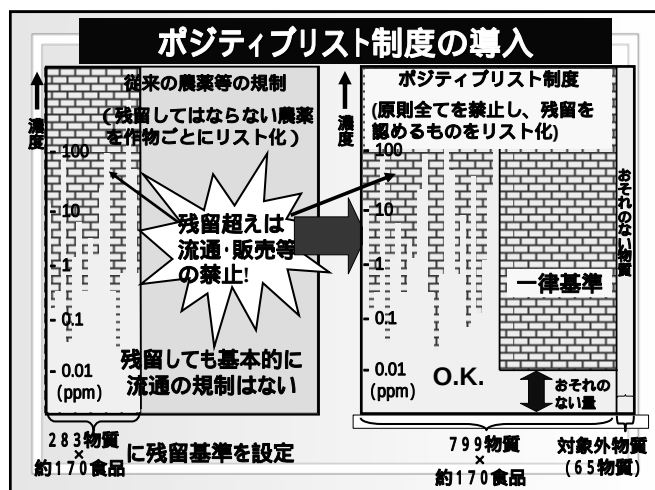
農家の監督・指導

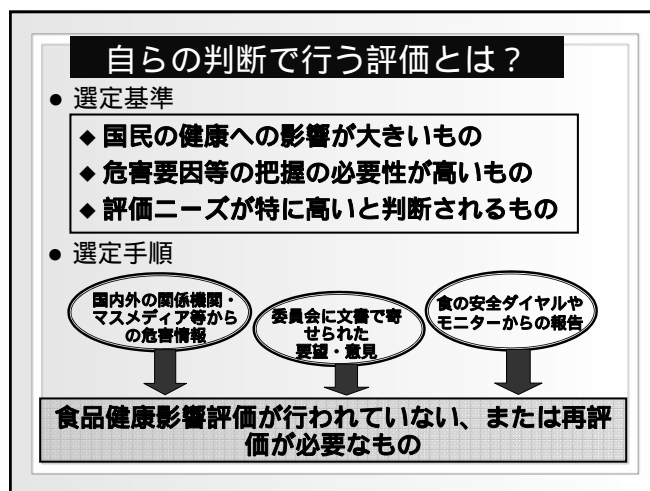
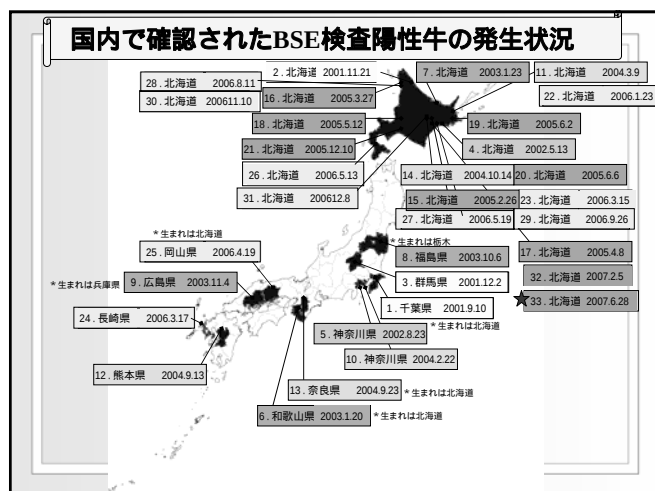
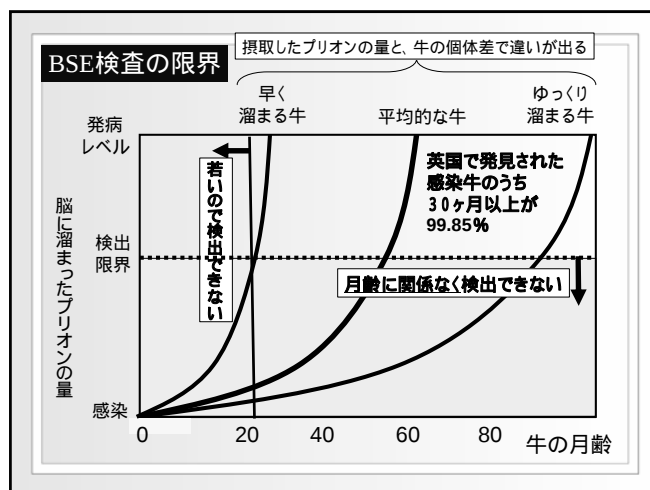
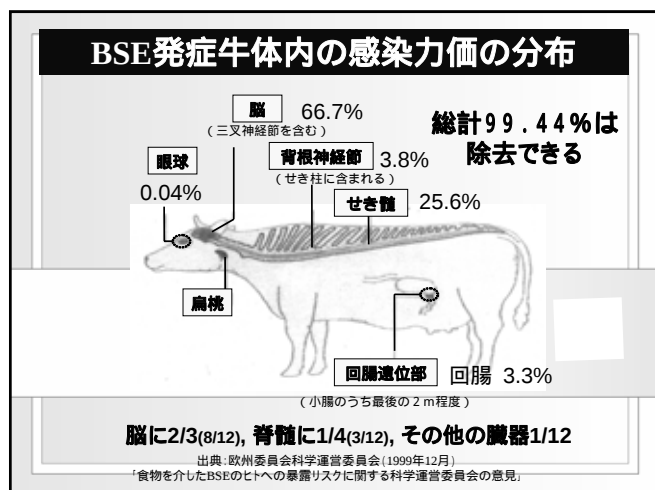
農薬の使用基準 (作物ごと)

・ 使える作物
・ 使用量
・ 使用時期
・ 総使用回数

作物残留試験

一日摂取許容量＝ADI





これまでの自ら評価

1. 日本における牛海綿状脳症(BSE)対策について-中間とりまとめ
2. 食中毒原因微生物のリスク評価
3. 我が国に輸入される牛肉等に係る食品健康影響評価

みなさんのぎもん？

食品安全委員会は何をしているの？

食品安全のための新しい考え方って？

添加物や農薬は、毎日とれば、いつかは障害がでるはずだ！

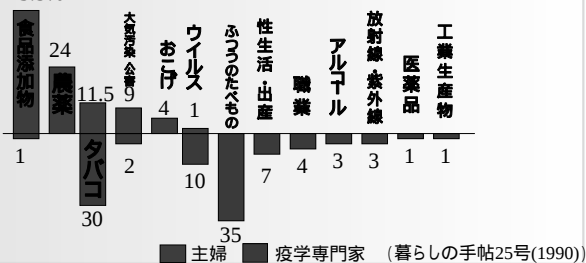
危険な情報ばかりで、どれを信じて良いのか・・・

管理機関から言われないと評価しないの？

リスクとつきあう

- ・ 食品を含めどんなものにもリスクがある
- ・ リスクのとらえ方は人によって差がある

何がガンの原因となると思うか？

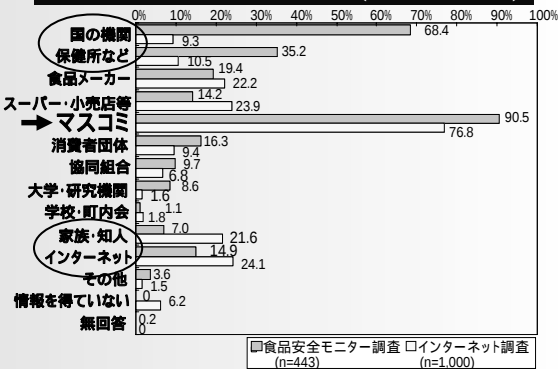


リスクとつきあう

- ・ 食品を含めどんなものにもリスクがある
- ・ リスクのとらえ方は人によって差がある
- ・ リスクを知り、妥当な判断をするためには努力が必要

- 科学知識を身につける努力
 - 一般的科学用語がわかる < 科学用語を正しく使える
 - < 分析的思考ができる

食品安全情報の入手方法(複数回答可)



(平成17年度食品安全モニター課題報告)

リスクとつきあう

- ・ 食品を含めどんなものにもリスクがある
- ・ リスクのとらえ方は人によって差がある
- ・ リスクを知り、妥当な判断をするためには努力が必要

- 科学知識を身につける努力
- メディアの情報の正確性を見分ける努力
 - 事実と意見、編集の有無、キャスターのイメージ等
- 情報を批判的に読み取る努力
 - あらゆる情報を一度批判的に考える



みなさんのぎもん？



食品安全委員会の役割

2. リスクコミュニケーションの実施

食品安全におけるリスクコミュニケーション

どのような評価／管理を行うかを決定する際に
情報を共有し、関係者間で意見を交換すること

↓
リスク分析に活かしていく



さまざまなリスコミの取組－１

- 委員会・調査会の公開（傍聴・議事録公開）
- 意見交換会（テーマを絞った講演と討論）等



- 評価結果等についての意見・情報の募集
- 食品安全モニター（全国の470名に依頼）

さまざまなリスコミの取組－２

- 食品安全委員会e-マガジン
- 食の安全ダイヤル
- 季刊誌などの発行



「食の安全ダイヤル」
TEL 03-5251-9220・9221
月曜～金曜（祝祭日・年末年始を除く）
10:00～17:00



～制作
DVD

- 地域の指導者・リスクコミュニケーション各育成講座
- リスク評価などのDVD作成と配布
- ホームページからのプレスリリース、情報提供など
- マスコミや関係者との懇談会

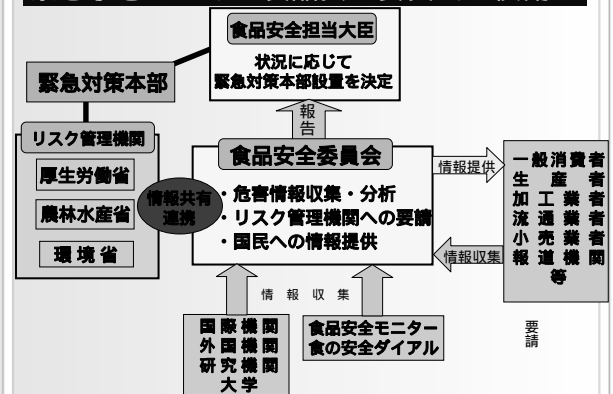
みなさんのぎもん？



食品安全委員会の役割

3. 緊急の事態への対応

緊急事態における食品安全委員会の役割



緊急時対応訓練を実施
(平成18年度)

(平19.2.9実施の第3回訓練)

形式:机上シミュレーション+実動訓練
訓練対象者:委員及び事務局幹部

情報提供のあり方についての検討
(机上シミュレーション形式)

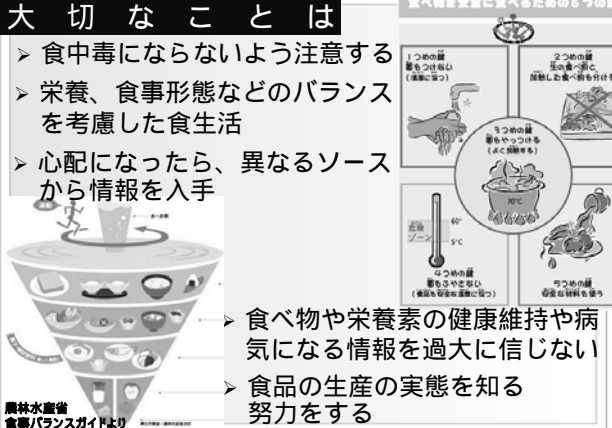
模擬記者会見
(実動訓練形式)




大切なことは

- 食中毒にならないよう注意する
- 栄養、食事形態などのバランスを考慮した食生活
- 心配になったら、異なるソースから情報を入手

食べ物や栄養素の健康維持や病気になる情報を過大に信じない
食品の生産の実態を知る努力をする

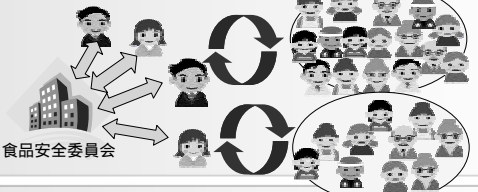


農林水産省
食事バランスガイドより

本講座の目的

地域における食の安全にかかわる情報提供とリスクコミュニケーションを行う指導者の育成
(期待できること)

- リスク分析の習熟
- コミュニケーション能力の向上
- 将来は、地域におけるリスコミの中心的な役割



食品安全委員会

ご静聴ありがとうございました